

記者クラブ加盟社 各位

摂津市 広報課

市制施行 60 周年を迎える摂津市・高石市・藤井寺市が特別対談 「これまでの 60 年、これからのまちづくり」

摂津市、高石市、藤井寺市が、いずれも市制施行 60 周年を迎えることを記念し、8 月 28 日（金）に、摂津市民文化ホールで、3 市の市長による対談を実施しました。

同じ年の 11 月 1 日に市制 60 周年を迎える 3 市。摂津市、高石市、藤井寺市は、いずれも類似した人口規模を持ちながら、産業や文化、歴史遺産などそれぞれに異なる地域特性と強みを有しています。今回の対談は、3 市の市長がそれぞれのまちの魅力、まちづくりの特色、今後のまちづくりの展望などについて語り合い、次の 10 年、20 年を見据えたまちづくりへの思いを発信することを目的に企画されました。

対談では、同じ節目を迎える 3 市の市長がそれぞれの 60 年の歩みを振り返るとともに、

「60 周年を迎えての所感」、「わがまちの魅力」、「これからのまちづくり」について意見を交わしました。異なる地域特性を持つ 3 市が互いの歩みや魅力、まちづくりへの考えを知り、新たな気づきを得る貴重な機会となりました。

3 市は、市制施行 60 周年をこれまでの歩みを振り返る節目であると同時に、次の時代へ向けた新たな出発点と捉え、それぞれの地域の強みを生かしながら、未来につながるまちづくりを進めていきます。



▲左から、嶋野 浩一朗（摂津市長）、畑中 政昭（高石市長）、岡田 一樹（藤井寺市長）

摂津市長 嶋野浩一朗 コメント

テーマ1「60周年を迎えての所感」

本市は、本年11月1日に市制施行60周年を迎えます。これもひとえに、これまでまちを支え、築いてこられた先人のご尽力と、市民お一人おひとりの温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

かつてのどかな田園地帯であった本市は、工業の発展と交通網の充実とともに、活気ある産業都市へと歩みを進めてまいりました。これまでの歩みに感謝し、その思いを受け継ぎながら、市民一人ひとりのウェルビーイングの実現に向け、力を尽くしてまいります。

テーマ2「わがまちの魅力」

摂津市は、交通の利便性が高く、暮らしやすいまちでございます。市内には、新幹線公園や明和池公園といった特色ある公園や、「鳥飼なす」などの特産品、さらには、ものづくりのまちの特色を生かしたオープンファクトリーの取組やキャリア教育の充実など、地域ならではの学びの機会の創出にも力を入れております。こうした多様な魅力を、ぜひ多くの皆様に感じていただきたいと思います。

テーマ3「これからのまちづくり」

本市では、市民一人ひとりの持続可能な幸福、すなわち「ウェルビーイング」の実現に向けたまちづくりを進めております。市の玄関口であるJR千里丘駅西地区では、来年の完成に向けて再開発事業が進み、新たなにぎわいの創出を期待しております。また、鳥飼地域では、淀川の水辺を生かした「かわまちづくり」や、旧鳥飼東小学校の跡地活用など、地域の魅力を高める取組を進めております。また、これからのまちづくりを支える礎は、本市が大切にしてきた「人と人とのつながり」でございます。60周年を新たなスタートと捉え、「みんなが育みつながりのまち 摂津」の実現に向け、取り組んでまいります。



<対談の内容に関するお問い合わせ先>

摂津市 市長公室 政策推進課 担当：古賀 TEL：06-6383-1316

<その他のお問い合わせ先>

摂津市 市長公室 広報課 担当：辻・杉山 TEL：06-6383-5801

Mail：kouhou@city.settsu.osaka.jp